

患者さまへ

前立腺癌に対するロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術における
拡大リンパ節郭清の有用性の検討

この研究は 通常の診療で得られた記録を使って行われます。
 このような研究は国が定めた指針に基づき実施されます。研究の対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開し、同意頂けない方には、その旨の連絡を頂く問合せ先を明示することが必要とされています。
 なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	<p>本研究は 2013 年 5 月～2021 年 3 月に当院で前立腺癌に対しロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除を施行した症例を対象としています。</p> <p>ただし、術前にホルモン療法を施行したものとリンパ節郭清を施行した症例は除きます。</p>
2 研究目的・ 方法	<p>今回の観察研究では当院におけるロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除の治療成績実態を調査することを主目的とし、公開済みの和歌山県立医科大学の同治療成績と比較するなどして拡大リンパ節郭清の意義について検討します。</p> <p>研究の方法は当院の身で実施する観察研究で、通常の診療で発生する既存の医療情報を使用します。</p> <p>研究の期間は、施設院長許可後～2023 年 3 月を予定しています。</p>
3 研究に用いる 情報の種類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究対象者背景：年齢、身長、体重、既往歴 ・ 病理結果 ・ 血液検査結果 ・ 手術所見、周術期合併症、予後 <p>なお、他機関への情報提供はございません。</p>
4 研究実施体制	<p>[研究責任者/情報管理責任者] 岸和田徳洲会病院 泌尿器科 医長 宮井 晴加</p> <p>[情報の保管・廃棄方法] 集約した情報は当院の泌尿器科にて保管します。 個人情報保護に細心の注意を払い保管し、保管期間が過ぎた後は、当院の手順に従い、個人情報に注意して破棄します。 保管期間：2028 年 3 月まで（研究の終了より 5 年間）を予定しています。</p>

<p>5 お問い合わせ先</p>	<p>本研究への情報利用を拒否したい場合や、その他 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>また、ご希望があれば他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p><照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者：岸和田徳洲会病院 泌尿器科 医長 宮井 晴加 <p style="text-align: center;">〒596-0042 大阪府岸和田市加守町4丁目27-1 072-445-9915（代表）</p> <p style="text-align: center;">または</p> <p style="text-align: center;">岸和田徳洲会病院 臨床試験センター</p> <p style="text-align: center;">〒596-0042 大阪府岸和田市加守町4丁目27-1 072-445-9915（代表）</p>
------------------	---

2022年9月28日作成（第1.0版）